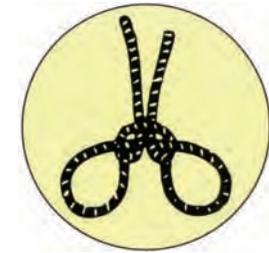


会報 むすび

第 39 号

平成27年3月吉日

発行所
栃木県青年神職むすび会
広報委員会
発行人
滝口 貴史
印刷所
株式会社 益子印刷



平成二十六年
むすび会事業報告

(平成二十六年)

四月 七日	むすび会決算監査会並びに 第一回役員幹事正副委員長会議	栃木県神社庁
四月 九日	第一回一都七県協議会定例会議	神社本庁
四月二十二日	神青協創立六十五周年記念大会	明治記念館
四月二十三日	第六十六回神青協定例総会	神社本庁
四月二十八日	県内神社例祭会員奉仕	栃木県護国神社
五月 十二日	第二回役員幹事正副委員長会議並びに 平成二十六年度むすび会定例総会	宇都宮二荒山会館
五月二十三日	むすび会・教化委員会合同御田植祭	那須烏山市
六月 三日	第五回フットサル大会	国立代々木競技場
六月 十一日	第二十回神青協一都七県協議会総会	ラフレさいたま
六月 十二日	懇親芝球会	大宮国際CC
六月 十五日	第三回役員幹事正副委員長会議	鹿沼今宮神社
六月 十八日	北方領土早期復帰祈願祭	北海道
六月 十九日	那須御用邸勤労清掃奉仕	那須町
八月 八日	第四回役員幹事正副委員長会議	宇都宮二荒山会館
八月 十一日	第二回一都七県協議会定例会議	神社本庁
八月 十九日	むすび会普通救命講習会	栃木県神社庁
八月 十九日	むすび会復興支援視察研修会	福島県
八月 二十一日	神青協夏季セミナー	靖国神社
八月 二十二日	神青協創立六十五周年記念事業「縁結会」	品川
八月二十八日	第五回役員幹事正副委員長会議	宇都宮二荒山神社

九月二十九日	第六回役員幹事正副委員長会議	上三川 白鷺神社
九月 三十日	第一回雅楽愛好会	神社庁・那須烏山市
十月 三日	第十八回一都七県協議会神職野球大会	明治神宮外苑
十月 六日	第三回一都七県協議会定例会議	神社本庁
十月二十九日	竹島の碑竣工並びに殉難者慰霊祭	島根県
十一月 四日	第七回役員幹事正副委員長会議	宇都宮二荒山神社
十一月 四日	むすび会臨時総会並びに忘年会	鹿沼今宮神社
十一月二十日	第二回雅楽愛好会	鹿沼今宮神社
十一月二十七日	神青協臨時総会	神社本庁
十二月 九日	第四回一都七県協議会定例会議・ 研修会・忘年会	明治神宮
(平成二十七年)		
一月二十二日	昇級者祝賀会並びにむすび会新年会	治兵衛
二月 五日	第五回一都七県協議会定例協議会	神社本庁
二月 十一日	建国記念の日奉祝式典	宇都宮二荒山会館
三月 十七日	神青協中央研修会	和歌山県
三月 十八日	一都七県研修旅行	兵庫方面
三月 十九日		兵庫方面
三月 十三日	むすび会退会者慰労会	鬼怒川
三月 十四日		

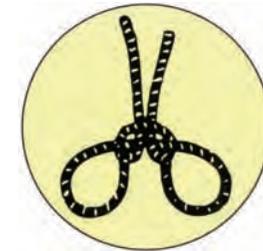
※その他 執行部会、役員会、役員・幹事・正副委員長会を
必要に応じて開催

会報 むすび

第 39 号

平成27年3月吉日

発行所
栃木県青年神職むすび会
広報委員会
発行人
滝口 貴史
印刷所
株式会社 益子印刷



栃木県青年神職むすび会 頒布品



着帯のお祝い(安産祈願)

腹帯

〈岩田帯〉

頒布価格(1箱) **¥1,000** (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し、高級感ある桐箱に納めました。
 中の帯は、縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)
 注文からお届けまで、お時間をいただく場合があります。
 納期に余裕をもって、ご注文ください。

ご注文
お問い合わせ

〒329-0618 河内郡上三川町しらさぎ1-41-6 白鷺神社内
栃木県青年神職むすび会 事業委員会
 委員長 板垣喜充 宛

【ご注文はFAXにて受付致します】
FAX / 0285-56-4553 TEL/0285-56-6491



臨時総会

会長退任挨拶	1
会長就任挨拶	2
福島県復興支援	
視察研修会	3
救命救急講習会	5
防災対策	6
御田植祭・抜穂祭	7
一都七県フットサル大会・野球大会	8
平成二十六年年度事業報告	9
平成二十六年度役員・幹事・正副委員長氏名	10
退会者紹介	11
祝・御結婚、祝・第一子御誕生	12
新入会員紹介	13
むすび会ホームページ更新のご報告	14
協賛社広告	15
選挙活動応援報告・編集後記・広報委員会名簿	17
むすび会事業委員会からのお知らせ	18

目次



感謝祈り

栃木県青年神職むすび会

第二十一代会長 滝口

貴史

先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますとともに、神宮におかれましては第六十二回式年遷宮が恙無く齋行されましたこと、慶賀に存じます。

さて、平成二十五年度に前田中会長様の後を受け、凶らずも会長の大役を仰せつかり、早いもので二年の月日が過ぎました。在任中は県内神社の宮司様を始め、先輩諸兄の皆様方には、御指導御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして、この度任期満了にて、無事その大役を果たすことができました。

この二年間は神宮の式年遷宮、出雲大社の平成の大遷宮、熱田神宮の一九〇〇年祭等々、悠久の歴史が蘇った節目の年でありました。このようなときに、歴史と伝統あるむすび会の会長職を拝命し、浅学菲才の身で何ができるか、ということを中心に考え行動してまいりました。

先ず、神職の本分である「祈る」ということ。東日本大震災の復興、尖閣竹島北方領土等の領土問題、また日々絶え間なく起こる事故や事件に対して、「祈る」とはどのような事か。東日本大震災においては、県内に於いて慰霊祭を齋行し、昨年は福島県の大葉町にて、被災地の早期復興活動へ祈りを捧げました。また、全国の仲間同士とともに、波照間島、隠岐の島、根室市にて領土問題の早期解決を祈りました。今年の一月十七日は阪神淡路大震災発生より二十年目の節目の年、東日本大震災発生からも四年の月日が流れました。ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、節目の日に改めて被災地の早期復興を祈りました。また、会長職の間、多くの慰霊祭に参列し、御霊に祈りを捧げました。「祈る」という神職としては当たり前のことなのですが、多くの祈りの場に参加参列できたことは、むすび会の

会長職のお陰様だと思っております。

いよいよ当会も五十年を過ぎ、会としても円熟の時となっております。これも諸先輩方が守りつないできた歴史伝統のおかげであり、そのたすきを自分なりに次の世代へ無事繋ぐことができました。柳田新会長の元、新役員の皆様には、公私ともにお忙しい事とは思いますが、会の発展のため、自己研鑽のため、より一層の御活躍を期待いたします。そして、同じ志を持った全国の青年神職の方々と、沢山の交流をもっていたいただきたいと思います。

私の好きな言葉に「稽古照今」という銘があります。日本の武術や芸事、習い事などの練習において、過去の達人であった先人の遺した理想的な形に近づくように修練することを、稽古と言います。「稽古」とは、読んで字の如く、古を稽ることです。昔の事を学ぶということは、あくまで今を照らすためであり、それを今に活かすことが大切なのであって、単に古い事を学ぶ事が目的ではないのです。この言葉は、神道の「中今の思想」と相通するものがあり、本当に大切であり、心すべき、生きている「今」こそが大切である、ということなのです。

最後に、二年間私のがままと力不足を補っていただいた福田副会長様、柳田副会長様を始め役員の皆様方、御指導いただきました相談役参与諸先輩、会員の皆様方、衷心より感謝申し上げます。改めて当会の益々の発展をお祈り申し上げますとともに、退任の挨拶と致します。ありがとうございました。



◆◆ 会長就任挨拶 ◆◆

栃木県青年神職むすび会
第二十二代会長 柳田 耕史

先ずもって皇室の弥栄をお慶び申し上げますとともに、国家の安寧をご祈念致します。

去る平成二十六年十一月四日の臨時総会にて、栃木県青年神職むすび会の第二十二代会長に推挙頂きました。大変光栄であり、その重責を全うすべく気を引き締めて参ります。

会員をはじめ、先輩諸兄、神青協、一都七県の同志の皆様のご指導、ご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昭和三十八年に発会した当会は平成二十四年に創立五十周年の節目を迎え、第二十代田中会長、第二十一代滝口会長のもと「次世代への継承」を主題に、いくつもの事業を行ってまいりました。そのような大きな節目を経た今期の会員数は四十六名となり、会員の減少が続いております。「次世代への継承」は、氏子崇敬者のみならず、我々青年神職、そして斯界にとつても大変重要かつ喫緊の課題でもあろうかと思えます。

神社で遊んだ記憶、お祭りでの撒き菓子を持った体験、口ずさむことができる神楽や祭囃子の音色。このような神社境内での思い出を持っていない国民が、少子高齢化や過疎化も伴って加速度的に増えて来ています。我々青年神職は、若い時だからこそ考えられる、今だからこそ実行すべき事業を展開していかねばなりません。各神社の実情や地域性を踏まえ会員皆で考え、企画し、協力し合い、会の活動が会員神社の発展に資する事業

展開をして参ります。

現在のむすび会は、歴代の先輩方と意見交換する交流や、叱咤激励を頂く定期的な集まりがありません。様々な周年事業や時勢に合わせた事業を展開してこられた先輩方の経験を、若い会員に伝える必要があります。今期は、それぞれの時代に活躍された先輩方と懇親を深める機会を作って行きたいと思えます。

戦後七十年を迎える本年、青年神職として当時の国内外の状況、戦後の日本の復興、その時代の神社界の困難さと、それを克服した先輩方の足跡を再確認する必要があります。靖国神社、護国神社の参拝勧請や英霊顕彰は前述を再認識せずには成り立ちません。今一度、若い会員を中心に学ぶ事業を行ってまいります。

先人が築いてこられた現在の比較的安定した神社界を取り巻く環境も、あと二十年経つとどうなっているか分かりません。未来を見据え、状況を判断し、それに向かって研鑽を積むことが我々青年神職には急務です。会員一同、同じ志をもって二年間進んで参りたいと存じますので、皆様の指導、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。



福島県早期復興支援視察研修



福島県早期復興支援視察研修の為、八月十九日福島県へ向かいました。到着後、福島県神社庁教化部長の佐藤宮司様をはじめ福島県神道青年会の皆様と意見交換会を踏まえた、懇親会を行いました。現状報告や意見交換、復興の進捗状況等を話し合いながら、親睦を深めることが出来ました。

翌日は、田村福島県神道青年会副会長様と共に、県内の四社を視察しました。各社、修復された所もあれば、修復途中、未だ手つかずの神社など様々でした。特に未だ手つかずの神社は、境内は荒れ果て、倒壊した灯籠等もそのまま、あの日から三年経った今も、震災の傷跡を深々と残していました。

各社視察の道中、震災の爪痕が今も残る箇所を通り、住民避難後の家屋は震災当時のまま、三年という長い月日により朽ち果ててしまい、被災地全域の復興の難しさを痛感しました。

視察後、いわき市久ノ浜に鎮座します諏訪神社を正式参拝させていただきました。高木宮司様より、映像を踏まえながら、震災当時の気持ちを語っていただき、自分も当時の記憶が鮮明に蘇り、改めて震災の怖さを感じました。直接被害を受けた被災者の方々は、我々には想像も出来ないほどの恐怖だったことでしょう。

その後、海岸近くに鎮座します星廻宮神社にて、早期復興の祈念を込め花の植栽を行いました。地震と津波の甚大な被害をうけた星廻宮神社は、震災後別の場所に遷す予定でしたが、あの津波を乗り越えた神社をこの地に残したいと、高木宮司様はじめ氏子崇敬者の強い気持ちから、この場所にて改修することになったそうです。

星廻宮神社周辺は、全壊した家々を取り壊し、新たに防波堤建設を行っており、大変無機質な雰囲気がありました。そのような場所に会員の手により植えられた色とりどりの花を見て、高木宮司様は「境内が明るくなり、雰囲気がとてもよくなった。参拝者にも喜んでいただける。」と仰っていただきました。

この研修を通して、微力ではありますが、復興支援のお手伝いをする事が出来ました。しかし、現状を目の当たりにした今、まだまだ我々に出来ること、やらなければならぬことは沢山あるのではないかと考えております。現地に赴くと「震災を風化してはならない」と痛切に感じます。

また、福島県神道青年会の皆様の、被災した社殿を改修し、祭礼を地域で復興させ、様々なものを次世代に伝え残し守っていく姿に、我々が励まされました。今回の復興支援において、自分が見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、現地を訪れたことのない方々に話し、伝え、福島をはじめ被災した多くの場所への意識を高め、この国に住まう者として、神職として、今後も末永い支援をしていきたいと思いました。

個人の力は微力であれ、皆で一致団結した力というのは被災者の方々に希望を持っていただけるのではないかと、改めて復興支援への気持ちを再認識しました。

(今宮神社 高橋林之介)



福島県早期復興支援視察研修



木戸八幡神社



麓山神社社殿



榎葉八幡神社



諏訪神社

《視察地》

麓山神社 自由参拝

富岡町内視察

諏訪神社 自由参拝

木戸八幡神社 自由参拝

榎葉八幡神社 自由参拝

諏訪神社 正式参拝

星廻宮神社 植樹

八月二十日、滝口会長をはじめむすび会会員十七名にて「福島早期復興支援視察研修」を行いました。

十九日、いわき市内において福島県神道青年会の皆様と意見交換交流会、続いて懇親会を行いました。福島県神道青年会田村副会長様、福島県神社庁佐藤大和教化部長様より、福島県の現状についてお話いただきました。

二十日、田村副会長様に御案内いただき、富岡町（麓山神社、諏訪神社、検問所、富岡駅）、榎葉町（木戸八幡神社、榎葉八幡神社）、広野町を視察、参拝した後、諏訪神社にて正式参拝、高木宮司様よりご講話いただき、星廻宮神社で植栽を行いました。

最初に視察した富岡町は、居住制限区域に指定されており、草が生い茂り、ブルーシートのかかった汚染ゴミの仮置き場や空間線量を表示した看板が町のあちこちに見受けられました。道すがら除染作業中の家を見る事が



滝口会長と福島県神道青年会田村会長様



諏訪神社 正式参拝



諏訪神社 高木宮司様と



星廻宮神社



植栽風景



植栽風景

できました。除染作業は家一軒毎に足場をくみ瓦を一枚ずつ拭き、砂利を削っていくという作業を繰り返し行うそうです。

富岡町は、平成二十九年をめどに除染作業が進められており、広野町は、すでに学校も役場も回復し普通に生活出来る状態になっているそうですが、人口は以前の三割しか戻ってきておらず、スーパー等は閉まっている所がほとんどだというのが現状だそうです。

慣れ親しんだ地にまた戻りたいと願う方もいれば、もう波の音は聞きたくないといこの地を離れて行く方もいらっしゃるそうです。時間がたてばたつ程帰還意欲が下がってしまい、いざ町が元通りになっても氏子さんなどの程度戻ってくるのか、また次世代を担う子ども達が氏神様である神社を知らずに育っていくというのが心配だと話されていました。

まだ手つかずの土地のがれき撤去や草刈りの作業もまだまだ必要ですが、地域の人々が町に戻った時に、以前のような神社と氏子さんの関係を築けるように支援していく活動も必要なのではないかと感じました。

(古峯神社 黒本 裕子)

普通救命講習

八月十九日、特別研修会 普通救命講習を行いました。

本研修会の目的は、日々の神明奉仕の中で起こりうる災害時に、参拝者、氏子崇敬者をはじめ身近な人々のために救命処置を行えるよう、救命術を学ぶことです。

当日は、宇都宮市中央消防署より救急グループの方々をお招きし、応急手当術である胸部圧迫（心臓マッサージ）・AEDの使用方法・気道異物の除去方法を教えていただきました。映像を観ながら消防署員の指導のもと、人間の胸部を模した人形に、会員各々が実技を行いました。

胸部圧迫と人工呼吸を合わせた蘇生術は、三分間同じ圧力で胸部を圧迫し続ける事が重要とのことですが、慣れない動作に、時間が経つにつれ次第に腕に力が入らなくなりました。また、全ての蘇生術を一人で行うのではなく、周りの人に協力を呼び掛け、分担して処置を行うことも大切だと教えていただきました。

消防署員の方々の丁寧かつ的確な御指導のもと、応急手当術を行うことが今回初めてだという会員も、以前講習会を受講したことがある会員も、一人一人が訓練にもかかわらず、いざという時の為に真剣に取り組む事ができました。

今回の研修会を経て、人命救助の大切さを改めて認識するとともに、いつそのような事態に遭遇しても、迅速かつ的確な判断、対応が出来るよう、定期的なこのような講習会を受講することの大切さを実感致しました。

(今宮神社 高橋林之介)





〈栃木県青年神職むすび会作成 防災チェックシート〉

東日本大震災を風化させない、教訓を活かすために。

栃木県青年神職むすび会では、東日本大震災に対するさまざまな復興活動を行ってまいりました。震災より4年という時間が経過し、防災への意識が薄れつつある中、震災を風化させない・教訓を生かすため、「防災チェックシート」を作成いたしました。

この機会にいま一度家庭における防災意識を見直し、今後起こりうる災害に備え家族で話し合い、活用して頂きたと思います。

もしもの時に備えて安心 ☑ 防災チェックシート

栃木県青年神職むすび会

非常用 持出品 避難時に 持ち出すもの
すぐに取り出せる場所に 保管することが大切です。
用意ができれば、✓しましょう。

品名	チェック欄	品名	チェック欄
現金(公共電話用の10円硬貨も)		くつ、靴(ホイッスル)	
通帳簿、証書類、印鑑など		ラジオ、懐中電灯用の乾電池	
保険証や免許証のコピー		ナイフ、缶切り、雑巾など	
携帯ラジオ(FM・AM両方聴けるもの)		眼鏡など生活に必要なもの	
ハザードマップ			
懐中電灯			
救急薬品			
非常食品(カンパチや缶詰など)、飲料水			
避難入、タオル、ティッシュペーパー			

家族の状況に合わせて準備しておこう

品名	チェック欄	品名	チェック欄
女性がいる場合		高齢者がいる場合	
生理用品		介護用品(折りたたみ杖など)	
肌着(下着)・カップ付きインナー		常備薬、服用中の薬	
水のいらないシャンプー		老眼薬や入れ歯など	
防災バザー		おかゆなど柔らかい非常食	
化粧水・乳液など		大人用オムツ	
乳幼児がいる場合			
おむつ			
おしりふき			
ミルク、哺乳瓶			
おもちゃや絵本			
母子健康手帳のコピー			

非常用 備用品 避難生活のために 用意しておくもの
最低でも7日分は用意しておきましょう。
用意ができれば、✓しましょう。

品名	チェック欄	品名	チェック欄
食料(小ロット食品、調味料など)			
水(大人一人当たり1日3ℓが目安)			
予備の乾電池			
ティッシュ、トイレトペーパー、ビニール袋			
卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料			
ラップ、アルミホイル、新聞紙			

※このリストには、一般的なものを示しています。ご家庭の状況等に応じて、必要なものを準備しましょう。
※非常持出品は、定期的に保管状態や中身を点検し、必要に応じて交換しましょう。

防災メモ ご家族で 防災会議をしましょう

事前に確認し、記入しておきましょう。

家族の名前	生年月日	血液型	携帯番号	学校・職場の番号

一時避難場所 <small>(ある程度スペースをとる公園、緑地、学校のグラウンド、団体の広場)</small>	避難所 <small>(自宅でも生活が困難になった時に、しほりこまする場所)</small>
広域避難場所 <small>(市町村以外から避難できる広大な自然公園、緑地の広場)</small>	地域の神社 <small>(自治や離れた地域に隣接した神社は、避難場所・集合場所にもなります)</small>

避難経路 ●市町村を確認し、ハザードマップを印刷・入手しましょう。●地域の地図を用い、避難場所までの経路を決めましょう。

緊急連絡先メモ	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
	役所・役場		親戚	
	地域の消防署		知人	
	地域の警察署			
	ガス会社			
	電力会社		水道局	
水道局				
地域の神社の連絡先				

※地域の神社の連絡先 栃木県にある場合はご連絡ください。

連絡方法 無事を伝えましょう

自分から情報を発信することが大切です。

NTT災害用伝言ダイヤルの使いのり

171 → 1 → 171 → 2

伝言を録音するには 自宅の電話番号を入力後、伝言を吹き込みます。

伝言を開くには 被災地の人の電話番号を入力後、伝言を読みます。

携帯災害用伝言板サービス

携帯名社のwebサービスのトップ画面に立ち上がっている「災害用伝言板」を選択

伝言の登録

伝言の確認

毎月1日や防災週間などに、この災害用伝言板を体験サービスが受けられます。※サービスの内容は、携帯会社によって異なります。各社ホームページにてご確認ください。

氏子、崇敬者の皆様の意識づけにご活用下さい。
詳しくは、下記までご連絡下さい。
白鷺神社 〒329-0618 河内郡上三川町しらさぎ1-41-6
TEL.0285-56-4553 FAX.0285-56-6491
担当：禰宜 上野敬則

御田植祭

五月二十三日、当会と栃木県神社庁教化委員会合同主催による恒例行事となりました。伊勢の神宮に献上する「イセヒカリ」の御田植祭が、滝口会長宅にて管理されている那須烏山市の神田に於いて、快晴のもと恙無く執り行われました。

神事に先立ち、午前中は栃木県神社庁に集合し、八幡台幼稚園の園児達と共に小林教化委員長様に「お米の大切さ」の講話をいただき、続いて荒井教化育成部門長様の指示のもと、プランターへ苗植えを行いました。園児達も、初めは恐る恐る苗に触れていましたが、次第に慣れてくると、手を泥だらけにしなが、目をきらきらと輝かせ楽しんでいたのが印象的でした。午後は教化委員と会員一同で神田へ移動し、柳田副会長齋主のもと、御田植祭神事が齋行され、稲の健やかな成長を祈願し、参列者全員による御田植えが行われました。

苗を植え、米が実るといふ摂理は、私達に自然からの恩恵、大神様への感謝の気持ちを思い出させてくれます。

今後とも、より多くの方にご参加いただき、御田植祭が引き継がれて行くよう努めて参りたいと思います。なお、当日ご参加の皆様には、大変お暑い中ご参列を賜りまして、誠に有り難うございました。

(今宮神社 下妻 大介)



抜穂祭

稔りの秋となり、九月三十日に抜穂祭を執り行いました。

今年の五月に、八幡台幼稚園の園児達によってプランターに植えられた苗は、米の生育を体感してもらおうと通園口に置かれ、毎日の行き帰りに多くの子どもたちが目にするなか、園長先生や職員の方々の手により大切に育てられました。

抜穂祭当日の午前中、神社庁神殿で齋行された奉告祭には園児達も参列し拝礼、その後小林教化委員長様から「神さまとお米の話」などを聞き、「イセヒカリ」の稲刈りに挑戦しました。教化委員とむすび会員と共に、鎌を使つての初めての稲刈りに歓声を上げながらも、「なかなか切れないね」、「たくさん刈れたよ」などと、小さな手で一生懸命刈り取りを行いました。

午後は那須烏山市志鳥の滝口会長宅の神田に移動し、黄金色にたわかに穂った神田の脇に設けた祭場で、教化委員と会員参列のもと、抜穂祭を齋行。抜穂の儀を行い、今年初めての稲穂を神前に供えた後、全員で神宮の新嘗祭や奉仕神社に奉納する稲穂を刈り取りました。

この恒例の御田植祭・抜穂祭は、昨春より県神社庁教化委員会との共催となり、子どもたちが稲作の体験をすることで、毎日の食卓に供されるお米の大切さ、自然への感謝の念を醸成するよい機会ともなっております。長年にわたり神田の提供管理をご奉仕いただいております神田主の滝口良一様には深く感謝を申し上げます。

(宇都宮二荒山神社 金子 宗人)



フットサル大会

六月三日、国立代々木競技場フットサルコートにて、第五回神青協一部七県協議会主催のフットサル大会が開催されました。

当会チームは、これまで出場した大会全てにおいて優勝という輝かしい成績を残しており、会員十名、今回の大会も「絶対負けられないっ」を合言葉に臨みました。

親睦フットサル大会も今回で五回目をむかえ、開催を増すごとに各チームのレベルも高くなっており、これまで以上に白熱した試合が見られました。

当会チームは、選手一人一人が溢れんばかりの情熱と希望を胸に、他チームからの厳しいマークもなんのその、「蝶のように舞い、蜂のように刺す」をモットーに、一丸となって戦いました。残念ながら初めての敗戦、僅差の試合もありましたが、今回も優勝という栄冠を勝ち取ることができました。

スポーツを通して他県の同志と有意義な時間を過ごせたことを大変嬉しく思うとともに、今後も様々な活動を通してより一層深い絆を築いていけるよう会員一同努めていきたいと思えます。

(春日神社 板垣 喜充)



野球大会

十月三日、第十八回一部七県神職野球大会が開催されました。東京・神奈川・埼玉は各二チーム、山梨・千葉・茨城・群馬・栃木は各一チームの全十一チームでのトーナメント戦に、栃木県チームは青年神職むすび会会員を主体に、刀川先輩にもご参加頂き総勢十四名で挑みました。事前に十分な練習をできなかった中で、選手等は持てる力を尽くし澁刺とプレーし、またそれに対し皆チーム隔て無く大きな声援を送り、試合が終われば円陣を組み、互いにエールを送り合い健闘を讃えました。結果として勝ち星には恵まれなかったものの、毎試合で熱闘を繰り広げ皆充実の表情を浮かべていました。私は野球未経験者ながら、ピッチャーのポジションを与えられ、どうにかチームに貢献しようと意気込みましたが、思うようなプレーをすることはできませんでした。そんな中でも、周囲で見守る先輩方からの声に励まされ、自分なりに奮闘することができました。

私のように単独奉仕の毎日を送っている者にとつて、普段味わえない一体感や充実感が青年会や親睦行事にはあります。本年度をもって、多くの先輩方がむすび会を退会される事となり会員数が激減する中で、当会としての活動や組織としての意義に関して再考しなければならない時期を迎えています。今後も、諸先輩方のご支援・ご指導を賜りながら充実した経験ができるよう、会員の一人としての自覚を高め活動していきたいと思えます。

(瀧尾神社 和田 晋典)



平成二十六年 むすび会事業報告

(平成二十六年)

四月 七日	むすび会決算監査会並びに 第一回役員幹事正副委員長会議	栃木県神社庁
四月 九日	第一回一都七県協議会定例会議	神社本庁
四月二十二日	神青協創立六十五周年記念大会	明治記念館
四月二十三日	第六十六回神青協定例総会	神社本庁
四月二十八日	県内神社例祭会員奉仕	栃木県護国神社
五月 十二日	第二回役員幹事正副委員長会議並びに 平成二十六年度むすび会定例総会	宇都宮二荒山会館
五月二十三日	むすび会・教化委員会合同御田植祭	那須烏山市
六月 三日	第五回フットサル大会	国立代々木競技場
六月 十一日	第二十回神青協一都七県協議会総会	ラフレさいたま
六月 十二日	懇親芝球会	大宮国際CC
六月 十五日	第三回役員幹事正副委員長会議	鹿沼今宮神社
六月 十八日	北方領土早期復帰祈願祭	北海道
六月 十九日	那須御用邸勤労清掃奉仕	那須町
八月 八日	第四回役員幹事正副委員長会議	宇都宮二荒山会館
八月 十一日	第二回一都七県協議会定例会議	神社本庁
八月 十九日	むすび会普通救命講習会	栃木県神社庁
八月 十九日	むすび会復興支援視察研修会	福島県
八月 二十一日	神青協夏季セミナー	靖国神社
八月 二十二日	神青協創立六十五周年記念事業「縁結会」	品川
八月二十八日	第五回役員幹事正副委員長会議	宇都宮二荒山神社

九月二十九日	第六回役員幹事正副委員長会議	上三川 白鷺神社
九月 三十日	第一回雅楽愛好会	神社庁・那須烏山市
十月 三日	第十八回一都七県協議会神職野球大会	明治神宮外苑
十月 六日	第三回一都七県協議会定例会議	神社本庁
十月二十九日	竹島の碑竣工並びに殉難者慰霊祭	島根県
十一月 四日	第七回役員幹事正副委員長会議	宇都宮二荒山神社
十一月 四日	むすび会臨時総会並びに忘年会	鹿沼今宮神社
十一月二十日	第二回雅楽愛好会	鹿沼今宮神社
十一月二十七日	神青協臨時総会	神社本庁
十二月 九日	第四回一都七県協議会定例会議・ 研修会・忘年会	明治神宮
(平成二十七年)		
一月二十二日	昇級者祝賀会並びにむすび会新年会	治兵衛
二月 五日	第五回一都七県協議会定例協議会	神社本庁
二月 十一日	建国記念の日奉祝式典	宇都宮二荒山会館
三月 十七日	神青協中央研修会	和歌山県
三月 十八日	一都七県研修旅行	兵庫方面
三月 十九日		兵庫方面
三月 十三日	むすび会退会者慰労会	鬼怒川
三月 十四日		

※その他 執行部会、役員会、役員・幹事・正副委員長会を
必要に応じて開催

◆平成二十六年 役員幹事氏名◆

【役員】

会長	滝口貴史	八坂神社	権禰宜
副会長	福田財大	今宮神社	権禰宜
副会長	柳田耕史	大前神社	禰宜
事務局長	福田有宏	日光二荒山神社	権禰宜
會計	田邊雅祥	岩崎神社	禰宜
庶務	上野敬則	白鷺神社	禰宜
監事	稲葉成孝	日光二荒山神社	権禰宜
監事	大阿久岩貴	春日神社	宮司
監事	葎田真彦	八坂神社	禰宜
議長	金子宗人	宇都宮二荒山神社	権禰宜
議長補佐	櫻木琢也	諏訪神社	宮司

◆各種委員会氏名◆

【広報委員会】

委員長	岩松史恵	津島神社	禰宜
副委員長	根本直樹	大前神社	権禰宜
副委員長	寺内誉迪	村檜神社	宮司

【研修委員会・事業委員会】

委員長	横瀬勝宣	賀蘇山神社	禰宜
副委員長	秋元亮平	乃木神社	権禰宜
副委員長	板垣喜充	春日神社	禰宜

【遷宮・神宮大麻特別委員会】

委員長	下妻大介	今宮神社	権禰宜
副委員長	大柿文彦	日吉神社	禰宜
副委員長	津田宏	乃木神社	権禰宜

【地区代表幹事】

中央地区代表	(宇河支部・宇都宮二荒山神社)	権禰宜
大塚 聡	白鷺神社	権禰宜
北東部地区代表	(芳賀支部・塩谷支部・南北那須支部)	権禰宜
高橋 林之介	今宮神社	権禰宜
西部地区代表	(上都賀支部・日光二荒山神社)	権禰宜
多田 隆一	日光二荒山神社	権禰宜
古峯神社代表	(古峯神社)	権禰宜
黒本 裕子	古峯神社	権禰宜
南部地区代表	(下都賀支部・安佐・足利支部)	権禰宜
沼部 泰幸	須賀神社	権禰宜



西勝 輝幸

平成二十五年に栃木県青年神職むすび会に入会させていただき、早いもので二年が過ぎました。このたび薬師寺八幡宮を退職し、埼玉県の川越の傍ら、むすび会において同世代の仲間たちと出会えたことや、かけがえのない時間を過ごせたことを糧とし、今後は埼玉県において日々神明奉仕に励みたいと思います。最後に、御指導頂きました先輩方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



退会者紹介



滝口 貴史

後輩へ一言お願いします

神社の役職を超えて活動できる素晴らしい場があります。青年期は一度しかありません。悔いの残らないよう活動してください。

御挨拶

自身の勉強の場になりました。今があるのもこの活動のおかげです。先輩後輩に恵まれたのも有り難かったです。たいへんお世話になりました。



福田 財大

後輩へ一言お願いします

むすび会は、神社神道の興隆に基づき自己研鑽と会員相互の親睦を語る会で、本会の活動を理解し会員一人でも多くの参加を期待しています。

御挨拶

十八年もの長い間、大変お世話になりました。会員皆様の今後のご活躍と本会の飛躍を心よりお祈り申し上げます。



稲葉 成孝

後輩へ一言お願いします

皆さん助け合って、頑張ってください。

御挨拶

会員の皆様には何かとお世話になり、誠に有難うございました。



大阿久岩貴

後輩へ一言お願いします

日々、第一線で御活躍している皆さんだからこそ最大限に「むすび会」を活用して、自身の成長や地域氏子の方々、そして神社界の為に「浄明正直」を実践して頂きたいと思えます。また、当会は県内各地の同年代はもとより先輩後輩との交流の場であり学びの場でもあります。多くの機会を自ら率先して得るように邁進して下さい。

御挨拶

神職として駆け出した当時、様々な面で会の仲間に助けられました。私にとつて会は、多くの学びや出会いの場でありました。そして何よりも神職としての姿勢や考え方等、様々な事柄を学び経験をさせて頂いた事、感謝に堪えません。



葭田 真彦

後輩へ一言お願いします

千里の道も一歩から。何事においても一日一日の積み重ねを大切にしてください。

御挨拶

年間の行事等には参加できない事があり、ご迷惑をかけることもありましたが、むすびの会での皆様との活動や語らいは、神職として実り多き時間でした。退会とはなりますが、今後とも宜しくお願い致します。



金子 宗人

後輩へ一言お願いします

ご健康に留意され益々ご活躍いただけますようお願い申し上げます。

御挨拶

歴代の諸先輩方、会員の皆様には大変お世話になりました。誠に有り難うございました。



櫻木 琢也

後輩へ一言お願いします

神社、支部の垣根を越えた青年神職同士との横の繋がりを大切に、未来の礎となる。ご活躍を期待しております。

御挨拶

何の力添えも出来ずに退会となつてしまったこと、大変申し訳なく残念な気持ちです。只々当会の末永い繁栄をお祈り申し上げます。長い間お世話になりました。



町井 康祐

後輩へ一言お願いします

醇風美俗

御挨拶

むすび会を通じ、様々なご縁を頂き有難うございました。若い皆様のこれからのご活躍を祈念致します。

退会者紹介



和氣 洋誠

後輩へ一言お願いします

懇親を深めて、更なるご活躍をお祈り致します。

御挨拶

皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



石原奈央子

後輩へ一言お願いします

皆様のご活躍を期待、祈念申し上げます。

御挨拶

何も出来ませんでした。ありがとうございました。



小林 宣彦

後輩へ一言お願いします

お世話になりました。今後の皆様方のご活躍を祈念申し上げます。

御挨拶

あまり参加できませんでしたが、皆様方の斯界に対する想いに触れて大変勉強になりました。



新井 隆宏

後輩へ一言お願いします

皆様のご活躍をお祈り致します。

御挨拶

大変お世話になりました。今後とも宜しくお願い致します。



橋口 幸司

後輩へ一言お願いします

貴会の益々繁栄をお祈り申し上げます。

御挨拶

名ばかりの会員でしたが、御世話になりました。



毛利 晴喜

後輩へ一言お願いします

たくさん交流を深めて下さい。

御挨拶

二年ほどの短い在籍でしたが、良い経験させて頂きました。どうもありがとうございました。



祝・御結婚



西勝 輝幸

奉職先 八幡宮

入籍日 三月十六日

新婦氏名 絵里子

新郎のつぶやき 笑顔の絶えない家庭を作りたいです。



祝・第一子誕生



寺内 誉迪

氏名 愛莉(あいり)

誕生日 平成二十六年十月十日

子供への一言

健やかに育つてくれることを願っています。心配りのできる優しい子に育って欲しいです。



新入会員紹介



齊藤 隆倫

奉職先 芳賀 安住神社

役職 権禰宜

自分を一言で表現して下さい

肉体派

これからの抱負をお願いします

初心を忘れず、様々なことに挑戦していきます。

とちぎ蔵の湯



柏倉温泉

太子館

〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町967

TEL(0282)23-5035(代) FAX(0282)23-5082

http://www.taishikan.jp ☎ 0120-235035

むすび会HP更新のご報告

平成二十六年度に更新作業を、左記の通り行いました。

今後ともむすび会HPの内容をさらに充実させていくとともに、適宜お知らせ欄や活動報告欄に情報を載せ、積極的な情報発信を行っていきたいと思います。

- ・むすび会HPトップ画像を変更。
- ・神社庁HPのむすび会リンクバナーの画像を変更。
- ・トップページお知らせ欄の下に、活動報告欄を新設。
- ・五月十二日定例総会記事をアップ。
- ・五月二十三日御田植祭祀記事をアップ。
- ・六月三日神青協一都七県フットサル大会記事をアップ。
- ・五十周年記念挨拶を削除し、会報デジタル閲覧ページを作成。
- ・会報三十八号のPDFデータアップ完了。
- ・会員紹介ページを設けて、現状は組織図を掲載。
- ・重複した神社関係リンクを削除し、むすび会員ブログリンクと『協賛社HP』リンクを掲載。
- ・会報三十七号のPDFデータアップ完了。
- ・会員紹介ページへの全会員データ入力完了。
- ・五十周年記念誌PDFデータアップ完了。
- ・九月三十日 抜穂祭祀記事をアップ。
- ・十月三日神青協一都七県野球大会記事をアップ。
- ・トップページレイアウト変更を完了。

(大前神社 根本 直樹・太平山神社 坂本 龍彦)





大当たりのお手伝い



株式会社下野広告社
〒320-0033 宇都宮市本町9-17
TEL028-666-8123 FAX028-666-8133

営業品目
縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061

全国各神社御用達
神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心中で奉仕する



今村紙業株式会社
代表取締役 今村 力男

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
TEL 055(272)0514(代)
FAX 055(272)8818

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。



グリーン産商株式会社
代表取締役 柚木 忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL 大阪(06)6702-6009番(代)
FAX 大阪(06)6797-5896番

神祭具・御装束・雅楽器類
授与品・結婚式場調度

(株)高善装束店
代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9
TEL 03(5815)8771
FAX 03(5815)8772

県内各神社様、工事拝命先(順不同)

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉神社
宇都宮二荒山神社	足利権崎八幡宮
真岡大前神社	佐野人丸神社
大田原那須神社	下野一社八幡宮
西那須野乃木神社	祖母井神社
氏家今宮神社	足利八雲神社
足利星宮神社	一瓶塚稻荷神社

株式会社



小西美術工芸社
〒321-1421 栃木県日光市所野2829-1
〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三HKMビル3階
TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)5765-1481(代)

足袋・和装用品専門店



株式会社 **福生**

〒593-8303
堺市西区上野芝向ヶ丘町4丁目22-20
フリーダイヤル 0120-29-0068
FAX 0120-29-0052
ホームページ <http://www.tabiya.net>

社寺建築請負い

株式会社 **石川工務店**
代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地
TEL 0288-53-0408



内宮に一番近い宿
早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館
伊勢神宮崇敬会

— ご宿泊に関するお問い合わせ —

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

第六十二回神宮式年遷宮
遠宮で結ぶ人の輪心の輪



祈りをかたちに

授与品・記念品御奉製

株式会社長谷川製作所
代表取締役 長谷川義貢

〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
TEL 048-921-1221(代表) FAX 048-921-1515



麻・鈴緒・合織α縄(注連縄)製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
<http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top>

御社頭授与品奉製

※御希望通りの御調製申し上げます。
御一報次第参上致します。

新日本工芸株式会社

〒311-4153
茨城県水戸市河和田町3891
電話 (029)251-0997(代)
FAX (029)252-8287

平成25年 祝 第62回 伊勢神宮式年遷宮

伊勢名物 **岩戸餅**

お伊勢参りのお食事とお土産は

宇治橋より30秒!

伊勢内宮前 岩戸屋

〒516-0024
伊勢市宇治今在家町58番地
TEL(0596)23-3188(代)
FAX(0596)28-1322
<http://www.iwatoya.co.jp>
E-mail info@iwatoya.co.jp

【取扱品目】神具・祭具・御守・神棚・調度品・記念品・雅楽器・木工品

神祭具の事なら民俗工芸にお任せください

ご注文専用フリーダイヤル

TEL:0120-534-550
FAX:0120-872-550

ホームページからのご注文も承っております
URL <http://www.minzoku.co.jp>



株式会社 民俗工芸 〒857-1162
長崎県佐世保市卸本町 18-1
土曜日も平常通り営業いたしております

【高級西陣織】 各種金襴錦守・木札・紙札・ステッカー
絵馬・木彫・土鈴・装束・撒餅・記念品



御社ならではの御守をオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気軽に御相談ください

京都奉製株式会社 京都本社 / 東京営業所
仙台営業所 / 福岡営業所

☎ 0120-164124 (イロヨイニシキ) <http://www.omamori.co.jp>

ようこそお伊勢さんへ

勢乃國屋では、豊富なおみやげ品、
伊勢の郷土料理を用意して、
皆様のお越しをお待ちしております。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

～ 伊勢路の土産と御食事処 ～

勢乃國屋 伊勢内宮前

〒516-0024
伊勢市宇治今在家町117
TEL 0596-23-5555
FAX 0596-23-1928
URL <http://www.senokuniya.co.jp>
E-mail info@senokuniya.co.jp

授与品専門奉製所

常陸神宝(株)

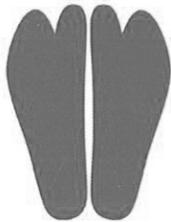
商標登録 「夢みくじ」「一期一会御守」
〒310-0902 水戸市渡里町835-1
TEL (水戸) 029(227)0511(代)
FAX (水戸) 029(227)0512



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
 - 開運招福鈴
 - 文鎮 金盃
 - 各種記念品類
 - 胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp



株式会社 皆中 kaichu

〒156-0045
東京都世田谷区桜上水4-8-7 HALS桜上水2F
TEL 03-3302-1899 / FAX 03-3302-1900
E-Mail:koushin@kaichutabi.com
http://kaichutabi.com

各授与品、記念品奉製

金襴綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー
●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844

宮内庁
神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場 **御用達**

株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前
東京都台東区東上野3丁目17番9号
電話 03(3835)3201(代)
FAX 03(3835)0617
http://www.ootsuki-shozokuten.com

総合印刷

(株)井上総合印刷

代表取締役会長 井上 光夫
代表取締役社長 井上加容子

本社 宇都宮市岩曾1355
TEL (028) 661-4723
FAX (028) 662-7607

文化を表現する会社

企画デザインからカラー印刷、製本まで

株式会社 益子印刷

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子1709-6
TEL.0285(72)3131 FAX.0285(72)6868



神祭具 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社 三重県伊勢市志摩2丁目5番29号(和歌山第28号)
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
IP電話 050-8538-5273
URL http://www.kanijitsuya.co.jp
E-mail info@kanijitsuya.co.jp

神 社 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号ACTビル4階
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
〒150-0618 IP電話 050-3589-3432
E-mail shinen@kanijitsuya.co.jp

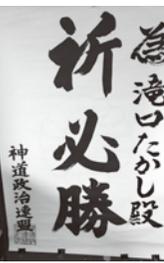
選挙活動応援

四月十三日告示、二十日投票の那須烏山市議会議員選挙に滝口貴史会長が立候補当選されました。告示日の四月十三日には、那須烏山市志鳥鎮座の愛宕神社において必勝祈願祭が斎行されました。

齋主 三箇神社 宮司 吉田正導
 祭員 宇都宮二荒山神社 宮掌 小林迪寛

投票日二日前には、プロのウゲイス嬢の方にご指導いただき、選挙運動車にて地域の方々へご支援をお願いするお手伝いを致しました。初めての体験にマイクを持つ手が震え、とても緊張しました。走行中の車からの短い言葉での呼びかけは想像以上に難しかったのですが、プロの方も運転手さんも支援をお願いをするだけでなく、常に車窓から周囲に気を配りながら、路上や遠方から手を振って下さる方々にも細やかに対応する心遣いに驚かされました。

(雄琴神社 黒川 寧子)



編集後記

大雪、集中豪雨、地震、火山の噴火など自然災害の非常に多い一年でありましたが、十月には高円宮典子女王殿下と出雲大社・千家国麿権宮司様の「結婚の儀」が斎行され、斯界はもとより国民にとりましても誠に慶賀な年となりました。また、昨年厳肅に斎行されました式年遷宮が、次の第六十三回に向けて再び一歩ずつ歩み出すべく節目の一年が刻まれました。遷御にむけた諸祭典のみでも八年を要するといえ、日々の積み重ねこそが二十年に一度の重儀を支える大切な歩みであり、また遠く持統天皇の御代から連綿と続く日本文化の神髄を成すこの伝統を、子や孫の代に至るまで確かに継承する為、使命感をもって精一杯その責務を果して参りたいと思います。

さて、本年もここに「会報むすび 第三十九号」が、皆様のお陰をもちまして無事発行できましたことを厚く御礼申し上げます。発行に際しまして、ご協賛を賜りました皆様、御寄稿御協力戴きました皆様に、この場をお借り致しまして心より感謝申し上げます。なお今年度ももちまして、会長以下十名を超える会員がこのむすび会を巣立っていかれます。時に厳しい御指導や共に過ごした楽しい時間は計り知れませんが、先輩方の軌跡に恥じる事の無いよう自己研鑽を積み、会員相互の親睦を深め、来年度以降も様々な事業に取り組んで参りたいと思えます。今後とも、栃木県青年神職むすび会に対しまして、御指導御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

広報委員会名簿

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岩松 史恵 |
| 副委員長 | 根本 直樹 |
| 副委員長 | 寺内 誉迪 |
| 委員 | 毛利 晴喜 |
| | 石原奈央子 |
| | 多田 隆一 |
| | 黒川 寧子 |
| | 津田 亮 |
| | 西勝 輝幸 |
| | 増淵 元 |
| | 坂本 龍彦 |
| | 和氣 裕美 |
| | 山本 明翔 |
| | 小林 迪寛 |
| | 佐藤 大直 |